

2号RPV底部温度計の再挿入作業概要について

2015年2月26日
東京電力株式会社



無断複製・転載禁止 東京電力株式会社

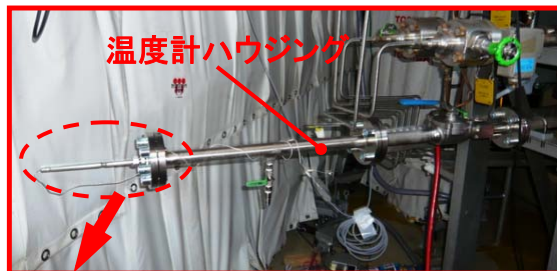
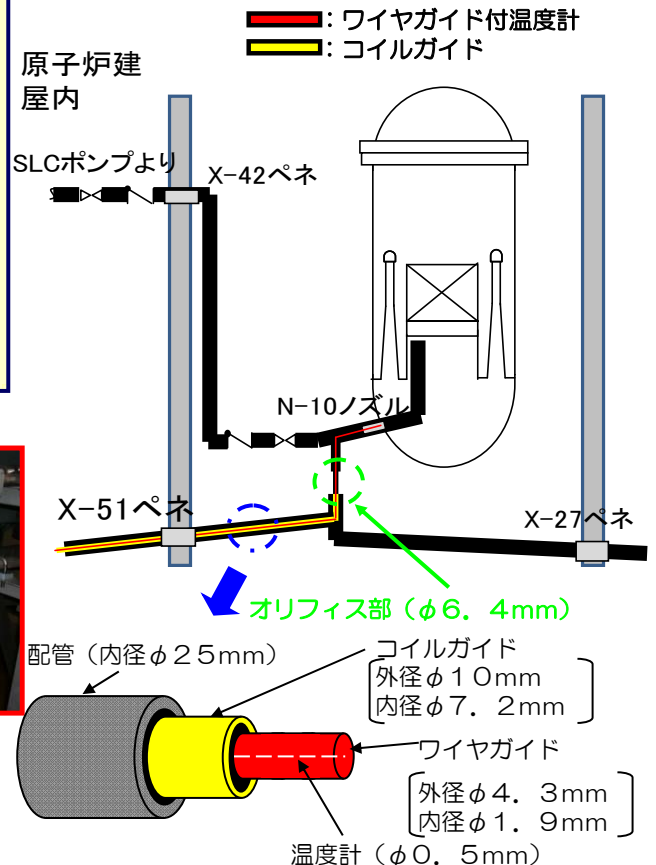
1. 設備概要と作業内容

■設備概要

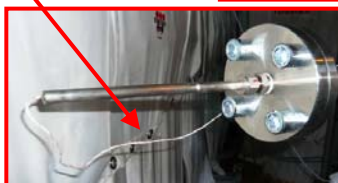
- 既設SLC計装配管を利用して、X-51^パ側からX-27^パ側に繋がるT分岐後のオリフィス部までコイルガイドを挿入し、以降ワイヤガイド(温度計付き)をN-10ノズル付近まで挿入されている。
- 当該温度計は、H26.2.19に故障と判断。
- 錆除去剤注入を行った後、H27.1.19に引き抜き完了。

■作業内容

- 同配管に、新規コイルガイドおよび新規ワイヤガイド(温度計付き)を挿入する。



温度計信号線

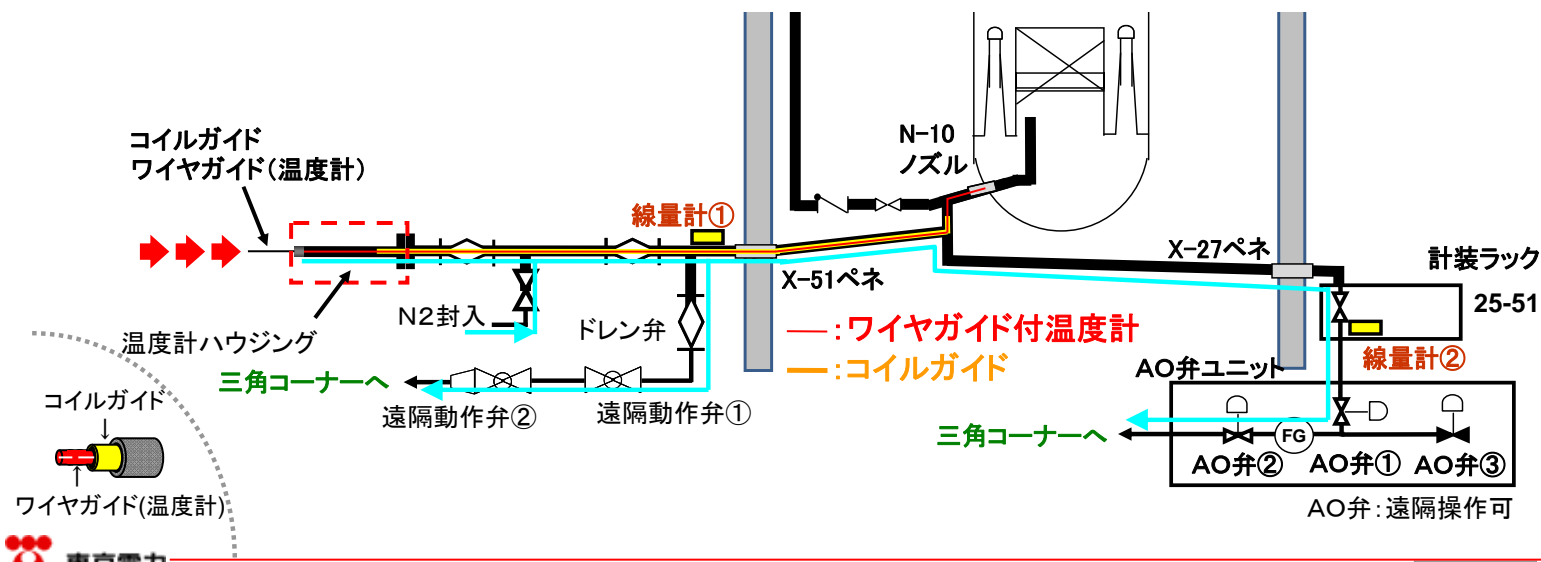


2号機 TE-2-3-69R設置概略図

2. 温度計再挿入作業の概要

■ 温度計再挿入

- X-51ペネより、既設SLC計装配管に新規コイルガイドを挿入する。コイルガイドはオリフィス部まで挿入する。
- コイルガイドの内側に、温度計付きワイヤガイドを挿入する。ワイヤガイドはN-10ノズル部まで挿入する。なお、発錆防止対策として、ワイヤガイドの素材を炭素鋼からSUS304（コイルガイドと同素材）に変更する。
- 温度計挿入時は、故障温度計引き抜き時および内視鏡挿入時と同様に、配管にN2を封入することによりシーリングを行いながら作業を行う。



【参考】 予定工程

作業内容	2月第3週					2月第4週					3月第1週					3月第2週				
	16	17	18	19	20	23	24	25	26	27	2	3	4	5	6	9	10	11	12	13
SUS製ワイヤガイド製作・準備 (温度計組込他)	[]					[]					[]					[]				
挿入モックアップ	[]					[]					[]					[]				
温度計挿入 (付帯作業含む)	[]					[]					[]					[]				

- 温度計引き抜き後の内視鏡確認では、錆・腐食等は認められていない。
- ワイヤガイド素材変更による挿入性への影響や、設置から相当の時間が経ていること、設置を経験していない作業員も再挿入作業にあたること等から、入念に挿入モックアップを実施する。